

大津市 水道事業 湖都大津・新水道ビジョン改訂版の概要

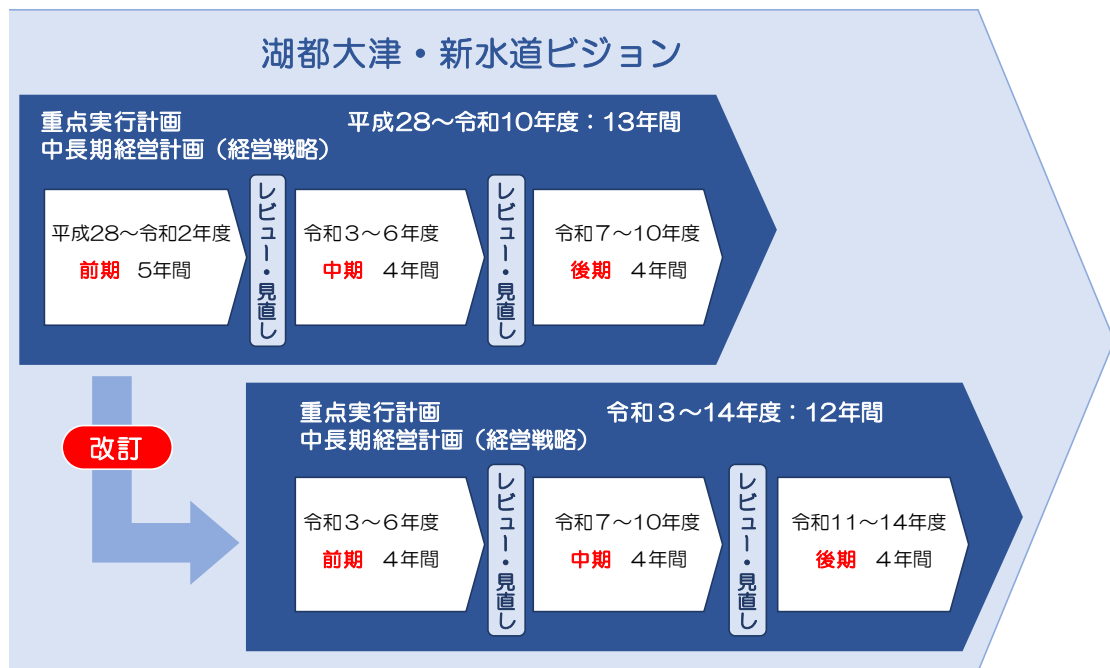
1. 改訂理由（本編 P.3）

本市は、平成 27 年度に「湖都大津・新水道ビジョン 重点実行計画 中長期経営計画（経営戦略）」（以下「本計画」という。）を策定し、平成 28 年度から本計画に基づき水道事業を運営してきました。

国が「経営戦略は策定して終わりではなく、毎年度、進捗管理を行うとともに、3～5 年毎に改定していく必要がある。」としていることも踏まえ、過去 4 年間（平成 28 年度～令和元年度）における本計画の目標達成度の検証及び評価を基に、今後の施策や投資・財政計画を見直し、より質の高い計画とするために改訂するものです。

2. 計画期間（本編 P.5）

本計画の改訂にあたり、国が示す「経営戦略策定・改定マニュアル」に基づき、計画期間を令和 3～14 年度までの 12 年間に改めます。



3. 基本方針と主要施策に関する改訂のポイント

(1)基本方針（本編 P.46）

引き続き、平成 27 年度に定めた 3 つの基本方針を継続します。

- I. **安全**で安心な湖都大津の水道
- II. **強靱**な湖都大津の水道
- III. **健全**で**持続**可能な湖都大津の水道

(2)主要施策（主な改訂内容）

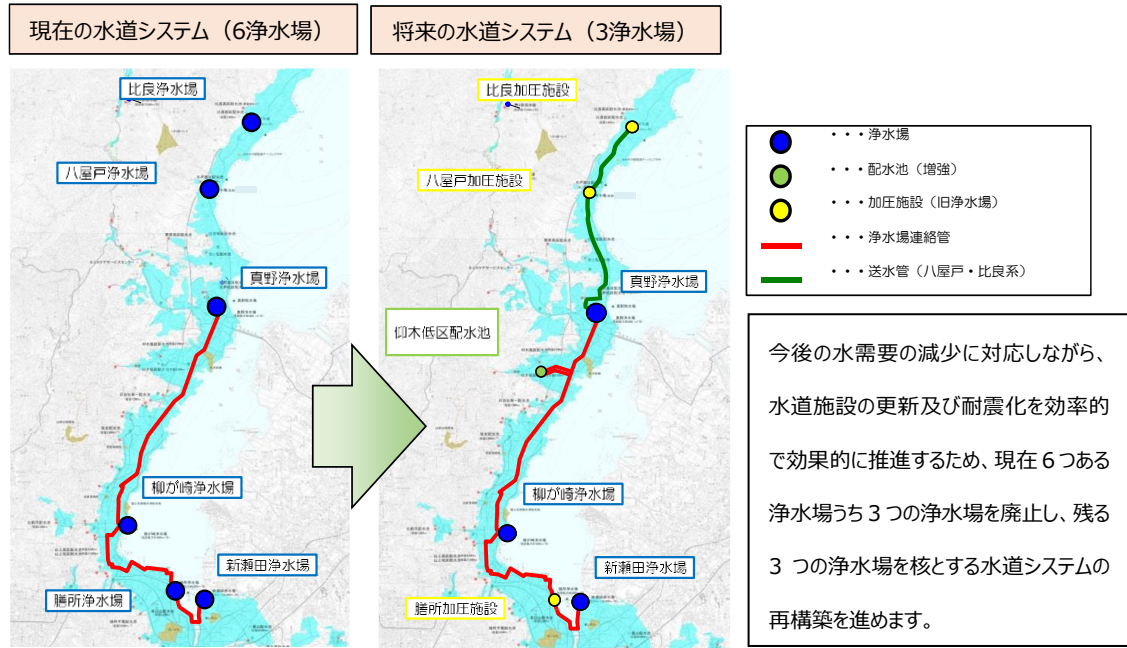
【基本方針Ⅰ：安全で安心な湖都大津の水道】

水質管理の充実と強化（本編 P.59）

- **【充実】**平成 28 年度に認定取得した水道 GLP の認定継続

【基本方針Ⅱ：強靱な湖都大津の水道】

水道システムの再構築 浄水場の廃止（6 浄水場を 3 浄水場へ）（本編 P.71）



- **【変更】**水需要予測にあわせ、膳所浄水場の廃止予定を令和 9 年度から令和 14 年度に延伸（本編 P.72）
- **【充実】**真野・柳が崎浄水場間の連絡管の更新、仰木低区配水池の増強により、主要 3 浄水場の相互融通機能を強化（本編 P.74）

水道施設の計画的な更新（本編 P.76）

- **【充実】**大規模な更新を真野、柳が崎及び新瀬田浄水場の 3 つに重点化

危機管理体制の強化（本編 P.94）

- **【充実】**近年の全国各地の風水害の被害状況をふまえて自家発電機などの停電対策を強化

【基本方針Ⅲ：健全で持続可能な湖都大津の水道】

広報・広聴活動の充実とお客サービス向上（本編 P.100）

- **【充実】**大津市企業局広報戦略（令和元年度策定）に基づき、お客様とのコミュニケーションを高めることに重点を置き、SDGs を意識して戦略的に広報活動を実施

広域化の推進（本編 P.112）

- **【充実】**水道法改正を契機とし、滋賀県が策定する広域化推進プランへの参画など、種々の施策を実施

(3)総事業費（本編 P.122）

- 総事業費（投資に要する費用）は令和 3 年度から令和 14 年度までの 12 年間で約 427 億円であり、うち改良工事業費が全体の 7 割以上を占めています。

＜＜施策体系図＞＞

安全

基本方針Ⅰ. 安全で安心な湖都大津の水道

(1) 水質管理の充実と強化

- ①水安全計画の運用と浄水管理センターによる総合監視体制の強化
- ②水質検査体制の充実と強化
- ③水源水質の監視と水源の保全活動
- ④水道施設の保安対策の強化
- ⑤水質を維持するための管路の洗浄作業
- ⑥水道未普及地域の解消

(2) 給水装置の水質確保

- ⑦鉛製給水管の解消
- ⑧給水装置、貯水槽水道の管理強化
- ⑨直結給水方式の拡大

強靱

基本方針Ⅱ. 強靱な湖都大津の水道

(1) 水道システムの再構築

- ①浄水場の廃止（6浄水場を3浄水場へ）
- ②浄水場連絡管による相互融通機能の強化

(2) 水道施設の計画的な更新

- ③水道施設（浄水場、配水池、加圧施設）の計画的な更新
- ④水道管路の計画的な更新
- ⑤送配水施設の効率的な整備
- ⑥配水ブロックの構築

(3) 水道施設の耐震化

- ⑦水道施設（浄水場、配水池）の耐震化
- ⑧水道管路の耐震化

(4) 危機管理体制の強化

- ⑨応急給水施設の整備
- ⑩停電対策の強化【新】
- ⑪災害対応力の強化

持続

基本方針Ⅲ. 健全で持続可能な湖都大津の水道

(1) 安定水源の確保

- ①琵琶湖表流水水利権の確保

(2) 広報・広聴活動の充実と
お客様サービスの向上

- ②広報活動の充実
- ③お客様ニーズの把握とお客様サービスの向上

(3) 事業経営と業務の効率化

- ④アセットマネジメント活動の継続推進
- ⑤民間的経営手法の活用検討
- ⑥局資産の有効活用と資金管理の効率化
- ⑦料金体系の見直しの継続的な検討

(4) 人材育成と活力ある組織づくり

- ⑧人材育成・技術継承と組織体制の最適化

(5) 広域化の推進

- ⑨広域化の推進と他水道事業者との連携促進

(6) 環境施策の推進

- ⑩資源・エネルギーの有効利用
- ⑪漏水防止対策の推進

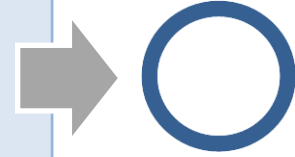
4. 投資・財政計画（本編 P.129）

経営目標

経営目標① 現預金残高 40 億円を確保する。

経営目標② 企業債残高を 181 億円以下とする。

経営目標③ 健全な収支バランスを維持（当年度純利益を確保）する。



計画期間内において、現行料金水準を維持しつつ、全ての目標を達成！

○収益的収支

（単位：百万円）

区分	年度	前期				中期				後期			
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
収益的収支	営業収益	6,116	6,108	6,096	6,052	6,024	5,992	5,976	5,929	5,898	5,868	5,847	5,795
	うち 料金収入	6,031	6,023	6,011	5,967	5,940	5,907	5,891	5,844	5,813	5,783	5,762	5,710
	うち 受託工事収益	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
	うち その他の他	60	60	60	60	59	60	60	60	60	60	60	60
	営業外収益	977	963	984	995	993	968	945	955	938	959	970	936
	うち 他会計繰入金	19	19	18	17	17	16	15	15	14	14	13	12
	うち 長期前受金戻入	670	671	673	672	659	649	650	650	651	652	651	607
	うち その他の他	288	273	293	306	317	303	280	290	273	293	306	317
	収入計	7,093	7,071	7,080	7,047	7,017	6,960	6,921	6,884	6,836	6,827	6,817	6,731
	営業費用	5,839	5,868	5,914	6,114	6,037	6,142	5,983	5,894	5,971	6,172	6,265	6,211
	うち 職員給与費	633	700	704	750	740	711	677	669	658	717	730	693
	うち 経理費	2,522	2,371	2,362	2,466	2,392	2,499	2,352	2,252	2,283	2,371	2,410	2,407
	うち 減価償却費	2,684	2,797	2,848	2,898	2,905	2,932	2,954	2,973	3,030	3,084	3,125	3,111
	営業外費用	352	320	321	317	341	287	249	251	223	235	243	250
	うち 支払利息	283	263	244	225	211	198	187	176	166	158	151	147
	うち その他の他	69	57	77	92	130	89	62	75	57	77	92	103
支出計	6,191	6,188	6,235	6,431	6,378	6,429	6,232	6,145	6,194	6,407	6,508	6,461	
経常損益	902	883	845	616	639	531	689	739	642	420	309	270	
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別損失	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度純利益	900	883	845	616	639	531	689	739	642	420	309	270	

○資本的収支

区分	年度	前期				中期				後期			
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
資本的収支	企業債	1,243	1,080	1,006	1,258	1,293	1,330	1,099	1,055	1,020	1,201	1,341	1,118
	他会計出資金	79	71	363	358	281	95	96	121	184	171	199	134
	他会計負担金	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	国（都道府県）補助金	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	工事負担金	89	93	93	93	93	93	93	93	93	93	41	41
	収入計	1,421	1,257	1,477	1,719	1,677	1,528	1,298	1,279	1,307	1,475	1,591	1,303
	建設改良費	3,963	3,252	3,601	3,922	3,817	3,439	3,179	3,478	3,607	3,597	3,630	3,222
	企業債償還金	1,287	1,307	1,315	1,305	1,305	1,339	1,374	1,360	1,314	1,243	1,254	1,288
支出計	5,250	4,559	4,916	5,227	5,122	4,778	4,553	4,838	4,921	4,840	4,884	4,510	

○他会計繰入金

区分	年度	前期				中期				後期			
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
収益的収支分		46	47	46	45	45	44	43	43	42	42	41	40
資本的収支分		89	81	373	368	291	105	106	131	194	181	209	144
合計		135	128	419	413	336	149	149	174	236	223	250	184

○経営目標設定値の推移

区分	年度	前期				中期				後期			
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
経営目標① 現預金残高		3,638	3,410	3,576	3,574	3,558	3,553	3,656	3,733	3,711	3,832	4,007	4,053
経営目標② 企業債残高		16,603	16,376	16,067	16,020	16,008	15,999	15,724	15,419	15,125	15,083	15,170	15,000
経営目標③ 当年度純利益		900	883	845	616	639	531	689	739	642	420	309	270